

第3回 カヤネズミとカヤ原保全のシンポジウム

KAYA SUMMIT

カヤサミット 2026

未来へつなぐ——
カヤ原の生きものたちと私たちの、ものがたり。

2026.10.31(土)

13:00～17:00(開場12:45)

さくらであい館

主催:全国カヤネズミ・ネットワーク

後援:京都市、京都新聞、国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所

Web:<https://kayanet-japan.com/>

参加申し込み



カヤ・サミット



カヤネズミは、オギやヨシなどが生育する草地(カヤ原)にくらす、良好な草地や水辺環境のシンボル(指標生物)です。しかし近年、環境の変化などによりカヤ原は急速に減少しています。

本シンポジウムでは、各地でカヤネズミやカヤ原の保全活動に取り組まれている方々による話題提供と、カヤネット会員によるポスター発表を行います。市民の皆様にかや原の重要性を知っていただくとともに、地域の保全活動へ参加するきっかけにしたいと考えています。また午前中には、近畿有数のカヤネズミの生息地である「桂川河川敷のオギ原」で自然観察会を開催します。この場所は長年にわたりカヤネズミに配慮した保全が続けられ、「プロジェクト未来遺産」にも登録されています。あわせてご参加ください。皆様のお申し込みを心よりお待ちしております。



プログラム

午前 観察会 10:00～11:00 (会場 桂川河川敷 9:50さくらであい館集合)

午後 シンポジウム 13:00～17:00 (会場 さくらであい館イベント広場「淀」)

第一部 13:00～15:15 (受付 12:45～)※オンライン(Zoom)参加可

基調講演 「カヤネズミと歩んだ25年～カヤ原のものがたりを、未来へつなぐために～」

畠 佐代子 (全国カヤネズミ・ネットワーク代表)

話題提供 「カヤネズミの茶色のおしりを追いかけて」 市川 澄子 (京都市立凌風小中学校)

「ネズミ類の描き方とSLLS自然観察のすすめ」 松本 晶 ((一社)日本理科美術協会)

「里山に暮らすカヤネズミ―新技術で生態に迫る!これまでの研究成果の紹介―」

湯浅 拓輝 (慶應義塾大学政策・メディア研究科 後期博士課程)

「希少種カヤネズミの生体展示の意義と行動観察への誘い」 中村 久美子 (滋賀県立琵琶湖博物館)

第二部 交流会 15:30～16:45(会場 さくらであい館学習室「木津」)

※オンライン配信はありません 17:00 閉会

※ポスター発表(各地のカヤネット会員の保全活動・調査報告)は午前中から閉会まで会場でご覧いただけます。



参加費

シンポジウム1,000円(要旨集代込み)、観察会500円(資料代・保険料込み)

※要旨集は1部700円(送料込み)で頒布します。要旨集のみご希望の方は申込み連絡先までお問合せ下さい。

定員

シンポジウム100名、観察会20名(いずれも申込先着順)

※シンポジウムの会場定員は63名です。会場参加の申込が定員を超えた場合、第一部のみオンライン(Zoom)での参加となります。第二部の交流会は会場参加者のみです。

申込み・連絡先

氏名、連絡先、希望の参加方法(会場参加／オンライン参加)、人数を明記し、下記までお申し込み下さい。

全国カヤネズミ・ネットワーク事務局 E-mail:info@kayanet-japan.com

*観察会のみ参加はご遠慮下さい。観察会申込締切:10/16(金)



会場交通のご案内

駐車スペースに限りがあります、なるべく公共交通機関をご利用下さい。



●京阪電車「石清水八幡宮」駅下車北へ徒歩約10分
JR京都駅からお越しの場合:JR奈良線「東福寺」駅から京阪電車に乗り換え「石清水八幡宮」駅下車

●〒614-8307 京都府八幡市八幡在応寺地先
TEL:075-633-5120 FAX:075-950-2953

講師略歴 (50音順、敬称略)

市川 澄子 (いちかわ・すみこ)

静岡県出身、長く東京に在住後、2018年4月より京都市民。和菓子大好き。一番かわい(?)のが、お話を始める前の子どもたちの目。

中村 久美子 (なかむら・くみこ)

2011年より滋賀県立琵琶湖博物館勤務。専門分野は博物館学(未就学児対象の博物館活動)、景観生態学(草地性小型哺乳類の生息地保全)。2016年からカヤネズミの生体展示担当。

松本 晶 (まつもと・あき)

埼玉県出身。1994年多摩美術大学日本画科卒業後、図鑑画イラストレーターとして活動。2006年より多摩動物公園教育普及課に臨時勤務。

畠 佐代子 (はた・さよこ)

博士(環境科学)。滋賀県立大学・近畿大学非常勤講師。京都市在住。河川や里地里山の生物多様性保全に研究と市民活動から取り組む。著書『すぐそこに、カヤネズミ―身近にくらす野生動物を守る方法』(くもん出版)『カヤネズミの本―カヤネズミ博士のフィールドワーク報告』(世界思想社)など。

湯浅 拓輝 (ゆあさ・ひろき)

埼玉県在住。里山や都市の生態系をフィールドに、カヤネズミのほかにも猛禽類、昆虫類、両生類、植物など様々な生物の研究を行う。東京都市大学でアシスタントフェローも務める。